

学習指導要領		都立足立新田高校 学カスタンダード
<p>一 体 化 する 世界 と 日本</p>	<p>ア 自然環境と歴史 歴史の舞台としての自然環境について、河川、海洋、草原、オアシス、森林などから適切な事例を取り上げ、地図や写真などを読み取る活動を通して、自然環境と人類の活動が相互に作用し合っていることに気付かせる。</p> <p>イ 日本列島の中の世界の歴史 日本列島の中に見られる世界との関係や交流について、人、もの、技術、文化、宗教、生活などから適切な事例を取り上げ、年表や地図などに表す活動を通して、日本の歴史が世界の歴史とつながっていることに気付かせる。</p>	<p>1 人類の活動は自然環境に大きく影響を受けていることを知るとともに自然環境に働きかけ 文明が成立していく過程を知る。</p> <p>ヒトの進化 文明の発生 四大文明とは 東アジアの文明中心に学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教科書や副教材の掲載地図を多用し、大陸や海洋の名称など白地図等を用い確認しながら進めていく</li> <li>個々の事例の中で同時代の世界史的事例と日本的事例を関連付けながら興味関心を引き付けるとともに、世界と日本のつながりに気付かせる。</li> <li>中国史を通して日本の文化政治社会が大きく影響を受けていることを具体的な事象を通して知る 後漢書 魏志倭人伝 仏教の伝来、遣唐使の派遣とその中止等が代表的な事例であろう</li> </ul>
<p>(2) 世界 の 一 体 化 と 日本</p>	<p>ア ユーラシアの諸文明 自然環境、生活、宗教などに着目させながら、東アジア、南アジア、西アジア、ヨーロッパに形成された諸文明の特質とユーラシアの海、陸における交流を概観させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>歴史学習の基本的な年代について、西暦の成立と紀元前（BC）・紀元後（AD）の呼称および100年単位の世紀（C）を確実に記憶する。</li> <li>東アジアの文明 黄河文明をはじめとした中華文明と内陸アジアの乾燥地帯に台頭した遊牧民国家の動向を中心にアジア全体の特質を理解する。</li> <li>南アジアの文明 古代インドを中心に独自の宗教、社会制度に触れる</li> <li>ヨーロッパの文明 古代ギリシア・ローマ、キリスト教の成立を基礎としたヨーロッパ世界の構造を理解する</li> <li>世界の一体化とヨーロッパ ルネサンスや大航海時代宗教改革をつうじてヨーロッパが海外進出を果たすことと世界的なつながりを理解させる。</li> </ul>

学習指導要領		都立足立新田高校 学カスタンダード
<p>イ 結び付く世界と近世の日本 大航海時代のヨーロッパとアフリカ、アメリカ、アジアの接触と交流、アジアの諸帝国とヨーロッパの主権国家体制、大西洋世界の展開とアフリカ・アメリカ社会の変容を扱い、16 世紀から18 世紀までの世界の一体化の動きと近世の日本の対応を把握させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 諸地域世界の交流 8 世紀以降のユーラシアの陸海ネットワークについて、諸地域世界の交流が活発化し諸地域世界が再編されたことを理解する。</li> </ul>	
<p>ウ ヨーロッパ・アメリカの工業化と国民形成 産業革命と資本主義の確立、フランス革命とアメリカ諸国の独立、自由主義と国民主義の進展を扱い、ヨーロッパ・アメリカにおける工業化と国民形成を理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産業革命と資本主義の確立について世界史的な視野に立たせ社会や経済の変化を理解する</li> <li>・ アメリカの独立と発展、フランス革命などの政治的な変化を理解する。</li> </ul>	
<p>エ アジア諸国の変貌と近代の日本 ヨーロッパの進出期におけるアジア諸国の状況、植民地化や従属化の過程での抵抗と挫折、伝統文化の変容、その中での日本の動向を扱い、19 世紀の世界の一体化と日本の近代化を理解させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シパーヒーの乱やアヘン戦争などの事例をテーマ学習にして理解する</li> <li>・ 18 世紀、19 世紀までのアジア諸帝国の動揺と日本の開国を理解させる</li> </ul>	
<p>(3) ア 急変する人類社会 地球社会と日本 科学技術の発達、企業や国家の巨大化、公教育の普及と国民統合、国際的な移民の増加、マスメディアの発達、社会の大衆化と政治や文化の変容などを理解させ、19 世紀後期から 20 世紀前半までの社会の変化について、人類史的視野から考察させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 帝国主義について 欧米の諸国が植民地獲得や勢力拡大の抗争からアジアではナショナリズムの高揚が見て取れることを知る。</li> </ul>	
<p>イ 世界戦争と平和 帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応、二つの世界大戦の原因と総力戦としての性格、それらが世界と日本に及ぼした影響を理解さ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第一次世界大戦の原因・経過・結果について系統的に理解する。</li> <li>・ 総力戦の意味を理解する。</li> <li>・ 大戦中ロシアで始まった社会主義革命がおこった</li> </ul>	

学習指導要領	都立足立新田高校 学カスタンダード
<p>せ、19世紀後期から20世紀前半までの世界の動向と平和の意義について考察させる。</p> <p>ウ 三つの世界と日本の動向 第二次世界大戦後の米ソ両陣営の対立と日本の動向、アジア・アフリカの民族運動と植民地支配からの独立を理解させ、核兵器問題やアジア・アフリカ諸国が抱える問題などについて考察させる。</p> <p>エ 地球社会への歩みと課題 1970年代以降の市場経済のグローバル化、冷戦の終結、地域統合の進展、知識基盤社会への移行、地域紛争の頻発、環境や資源・エネルギーをめぐる問題などを理解させ、地球社会への歩みと地球規模で深刻化する課題について考察させる。</p> <p>オ 持続可能な社会への展望 現代世界の特質や課題に関する適切な主題を設定させ、歴史的観点から資料を活用して探究し、その成果を論述したり討論したりするなどの活動を通して、世界の人々が協調し共存できる持続可能な社会の実現について展望させる。</p>	<p>ことについて学習する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヴェルサイユ体制について理解し、それが次の世界大戦に関わることを理解させる。</li> <li>・世界恐慌とファシズムの発生という新たな世界戦争の火種を学び取る。</li> <li>・第二次世界大戦の原因・経過・結果を学習するとともに戦後の国際社会について理解する。</li> <li>・冷戦の始まり 米ソ両陣営の対立によって国際社会の緊張が高まっていく様子を理解する。</li> <li>・ベルリン封鎖、キューバ危機、朝鮮戦争、ヴェトナム戦争などの事例を研究し、冷戦構造を理解する。</li> <li>・アジア、アフリカ植民地が解放され、第三世界として国際社会に発言権を高めたことを理解する。</li> <li>・1970年代の経済構造の転換について知る</li> <li>・EUの統合、地域紛争の激化など地球的な規模で課題が存在することと共存し持続可能な国際社会について社考察させる。</li> </ul>

